

Contents

- 2 地域に必要とされる事業と経営
- 3 非営利とは何?
- 4 環境と食事業 インフォメーション

地域福祉を担いたい 成長しあえる仲間とともに

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会加島厚子会長は、加須市で生活サポートの事業を行っています。

4年前銀行のパート勤務をしていた私に「一緒にワーカーズやらない?」と「きらきら館」の発起人が声をかけてくれました。当時仕事を通して高齢の方にお会いする機会が多く、何かお手伝いをしたいと思っていました。「事業の立ち上げに関わりたい」「ここでならやりたいことが出来る」と思いメンバーに加わりました。立ち上げには、ワーカーズ連合会の支援を受けました。

実際に動き出して問題が起こる度に話し合い、

加島厚子会長



「これがワーカーズの考え方だね」と確認しながら問題を解決して来ました。メンバーがいつも同じ方向を向くとは限らないけれど、お互いを尊重し、働く人にも利用する人にもやさしいワーカーズ・コレクティブをめざしています。

この度、埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会の会長に互選され、埼玉全域及び全国のワーカーズと出会える機会をいただきました。これまで連合会に支援していただいた事、これから運営委員として経験する事を活かし、ワーカーズを広める活動をしていきたいと思っています。

地域で生き生きくらすために 気軽に集える場所をつくる

NPO法人

たすけあいワーカーズ きらきら館

〒347-0016 加須市花崎北 3-14-3
Tel 070-2796-6448



「きらきらサロン」で人気の
マッサージ教室



ストレッチ教室

「きらきら館」は、地域の方が高齢になっても住み慣れた場所で生き生きと生活出来るようにサポートすることを目的として2016年11月に設立しました。

現在、正会員（働く人）10人、利用会員19人、賛助会員7人です。

地域の人々が気軽に集える場所作りとして「きらきらサロン」を毎月開催しています。お茶を飲

みながらおしゃべりしたり、歌ったり。主催する私たちも楽しみながら地域の方を呼び込んでいきたいと思っています。

ストレッチ教室は設立当初から毎月開催していて今年で4年目です。リピーターも増え、参加者同士、講師と参加者が仲良くなり楽しいひと時を過ごしています。

生活サポート事業は利用会員1人から始まり、利用会員や地域の方の口コミで徐々に会員が増えています。サポート依頼も毎日入るようになりました。

助けを必要としている方の気持ちに寄り添い、心のこもったサービスを提供していきたいと思っています。

加島厚子

右手で収益、左手で地域貢献

地域に必要とされる事業と経営

私たちの身の回りには生活や文化を支える事業がたくさんあり、その事業は営利事業と、非営利事業に分けることができます。

私たちワーカーズ・コレクティブは非営利で収益性のある市民事業を運営する組織です。営利団体が非効率ゆえに手を出さない事業も行い、自分たちを含めた地域の人々の暮らしを良くすることを目的とします。しかし地域貢献性の高い事業は収益性が弱く、自らが暮らす地域への思いや情熱だけでは継続できません。収益性が安定している事業と組み合わせるなど様々な工夫で継続させています。まさに右手と左手を使い分けてバランスをとっています。

お弁当事業を支える誰でも気持ちよく入れるレストラン

一般社団法人ワーカーズ・コレクティブむすび



明るい
店内の様子

障がいを持っている人の憩いの場でありたい

一般企業の撤退後、非営利団体でのレストラン運営をお願いしたいという埼玉県福祉事業団からの要望を受け、2016年6月に埼玉県障害者交流センター内のレストラン「むすび食堂」が誕生しました。

手造りを基本に、素性のわかる食材を使用し、身体に優しく環境にも優しい品質の高い食事の提供を心掛けています。

お客様は高齢者や身体に様々な障がいを持つ方などです。車椅子の方には座り易く椅子をどけたり、視聴覚に障がいを持つ方にはメニューの説明や筆談などの接客もしています。大きな声を出されるお客様もありますが気にしません。

しかしはじめからスムーズな接客が出来たわけでもありません。これまでに、お客様からは沢山の意見も頂きました。その都度、事業団の担当者や解決策などの話し合いを重ねています。

施設内レストランなので一日の売上は来所者数次第で、売上高は伸び悩んでいます。それでも私たちは、「むすび食堂」はなくてはならない居

場所と位置づけ、社会貢献できる地域事業の役割を担うという誇りを持っています。外部や会館内の会議・イベントでの弁当販売などしながら売上向上を目指しています。人件費などに課題は多々ありますが、食材費の節約や効率の良い働き方を工夫して、「美味しかったよ!」「ありがとう!」というお客様の笑顔を励みに運営しています。

大高文子

掃除をして稼ぎ、水環境運動を担う

そうじワーカーズきらら



地域のイベントで
掃除用の道具と
せっけん類を紹介

きれいな水を子供たちに残したい

掃除や洗濯は毎日の生活の一部です。私たちは環境や身体に優しい洗剤を使った生活の啓発や推進をしています。また事業として一般家庭での掃除をすることで、環境に負荷をかける合成洗剤の使用を一度でも減らす事ができると考えています。お客様にはナチュラルクリーニングの仕方も学んでもらいます。

私たちは生協組合員で、せっけん運動を行っている仲間と起業しました。一般家庭の清掃や生協施設の受託清掃などをするとともに、講習会や地元小学校の授業で水環境教育を行っています。掃除をして稼ぎ、その稼ぎで水環境運動も担っていく事が、私たちの事業スタイルです。

一般家庭での掃除業務では「ガステーブルの火がつかない」などの困りごとにも対応、乾電池を買いにコンビニに走ったりしています。

事業を始めて13年。若いメンバーが増えないのが悩みです。ただ、小学校の授業で「大きくなったらきららさんで働きたい」「僕は大人になったらせっけんを使います」という子供たちの感想文に励まされて「こどもたちにきれいな水を」と事業を継続しています。

安藤美紀子

掃除に行ける地域は西武線沿線地域です。お問合せ下さい。

きらら ☎04-2928-5413

委託事業と組み合わせ

NPO法人ワーカーズ・コレクティブてとて



みんなの居場所

地域になくてはならない「居場所」をつくる

「てとて」が開業して11年目となります。開業と同時に、生協の福祉事業であるみんなの居場所「わ〜くわっく北本」が開所しました。

実践の中で、地域で暮らし続けることに課題がある人は、孤立していることが多いことに気づき、人と人とのつながり作りが必要であると考えています。利用者は、多様性に富みます。どうすればその一人一人が気持ちよく過ごせるか、は、私たちの一貫したテーマとなっています。

そのように人が介することが必須の体制で運営

するため、また地域に求められる制度外の事業を行うためには、経費がかかります。事業主体の生協がその運営費の一部を委託費として経費負担することで継続運営が可能になりました。

国が提唱する地域包括ケアでも居場所の重要性が謳われていますが、気軽に誰でも利用できる居場所を常設の事業として運営することは非常に困難です。てとては、地域の人々の支援をいただきながらこの地域に暮らす人々の福祉資源のひとつとして、なくてはならない「居場所」として日々努力を重ね、継続運営を目指しています。

仲谷まり



移送サービス

収益

地域貢献

事業は誰のもの？ 非営利とは何？

利益をどう使うか

事業の利益とは、事業収入から必要な経費、人件費を引き、残ったお金が利益となります。

営利が目的の株式会社は、事業で利益を出して出資者である株主などが儲けることが使命です。事業は株主のものと言えます。

一方非営利の団体は、利益を出資者や社員で分配しません。特殊法人や医療法人、NPO法人等が代表的ですが、行政組織も非営利団体です。行う事業には収益性のあるものと、事業に収益性がなく寄付や会費などで運営するものがあります。

収益性のある非営利の事業

ワーカーズ・コレクティブは、業種により様々な法人格を取得していますが非営利団体です。地域に必要な事業を行い、働く人が資金を出し、みんなで働きます。出資者は働く人であり、事業は働く人のものです。剰余が出た場合も分配しません。事業を行う中で気づいた新たな地域

の課題に対して事業を展開するための資金とし、積み立てた剰余を使います。

積み立てた剰余を次の事業に

例えば、デイサービスなど介護保険事業を行う団体が、介護保険ではまかなえない隙間を埋める生活支援サービスの必要に気づいたとき、剰余を使い電動自転車などの購入資金にあて、生活支援サービスを始めることができます。

また、コミュニティレストランを行う事業所が、食事に来るお客さんとの会話の中で通院や外出に不自由を持つ人が多いことに気づき、剰余を車両の購入資金に使い移送サービスを開始することもできます。

この社会では、地域に必要とされる事業を剰余が出せる事業にすることは簡単ではありません。しかし地域の人々の生活に欠かせない事業こそ継続させなければなりません。非営利事業であっても十分な人件費と剰余が出せる事業にしていけることが求められます。

食と環境問題は密接に関係している

プラスチックストローを紙ストローへ ワーカーズ・コレクティブむすび

今プラスチックストローを使わない動きが広がっています。アメリカやイギリス等の大手飲食会社がストローの使用を禁止すると発表しているのです。きっかけはコスタリカ沖で保護されたカメの鼻の穴にストローが詰まっていた痛ましい映像だといわれています。

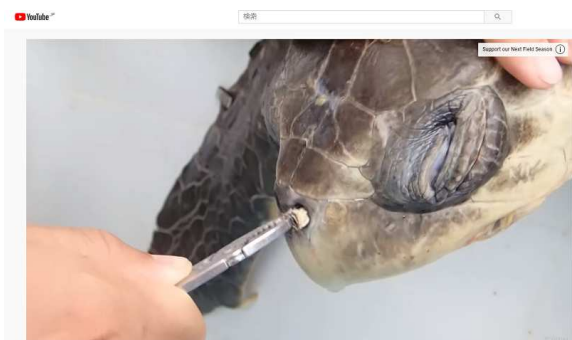
ストローはひとつの象徴で、レジ袋等多くのプラスチック製品の問題が指摘されているのは周知のとおりです。プラスチックは石油から作られ、分解されるのに数百年単位かかるものもあり、また分解されてもマイクロプラスチックとなり、プランクトンが食べてしまいます。そしてプランクトンを小さな魚が食べ、それを大きな魚が食べ、人間の食物になっているとされています。

できることから始める

ワーカーズ・コレクティブむすびは、障害者交流センター内で食堂を運営しています。様々なお客様がみえるのでストローを全く使わないわけにはいかないのですが、この夏からストローを紙製に替えました。また、そのほかのプラスチックも削減していこうと話し合っています。ビニール袋やワンウェイ弁当箱、使い捨てスプーン、ストローと、私たちもこれまで多くのプラスチック製品に頼ってきました。

しかし私たちは手作りを基本に素性のわかる食材を使って安全性の高い食事の提供に努めています。環境に関してもできることはあると思い紙ストローから始めることにしました。

盛迫由香



カメの鼻に刺さったストローを抜く

写真提供：COASTS/YouTube

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会
結成から20年を記念

ワーカーズ・コレクティブまつり in 川越 開催

2020年 3月 21日(土) 22日(日)

川越市産業振興館 小江戸蔵里 KURARI

埼玉のワーカーズ・コレクティブが川越に集結します。食、福祉に関する様々なブース出展があり、楽しい企画を検討中です。ぜひお出かけください。



第14回

ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 愛知

2020年 2月 22日(土) 23日(日)

協同労働でつくる協同組合型地域社会づくり

へえーそうだったんだ

ワーカーズ・コレクティブ

みんなで悩んでいまがあるんだがね

2年ごとの、全国のワーカーズ・コレクティブが集まる全国会議が愛知で開かれます。

1日目 日時 2/22(土) 13:30~16:30

会場 ウイルあいち

2日目 日時 2/23(日) 9:15~11:45

会場 ウィンクあいち

●参加費 3,000円

●懇親会 3,500円 2/22(土) 17:30~

参加申し込み：埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会へ

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 情報誌 WAVE67

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋 1-5-3 ひゅうまんポスト2F

電話/FAX 048-844-0221

E-mail saitama.waakore@gmail.com

HP <http://saitama-workers.com/>

企画編集 埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 1部 ¥100